

## 祝 辞

1997年特別コンサートマスターに就任。以来"N響の顔"を25年以上務め、現在も各方面で活躍中。2004年に王子ホールでスタートした『MAROワールド』、その後結成された弦楽合奏団「MAROカンパニー」による公演が人気を博す。

### 篠崎“まる”史紀 さん



王子グループ創立150周年を迎えられ、貴社の長年にわたる功績に敬意を表すとともに、ますますのご発展を心よりお祝い申し上げます。

王子ホールは、どの席で聴いても同じような響きで聴くことができ、演奏家は聴衆の表情を最後まで確認することができる素晴らしいホールです。そして、演奏家目線で感じたことを伝えるとそれを正確に反映して下さる優秀な運営陣が揃っています。ホールが楽器のように響き音楽家を育てることは、音楽文化の発展に大いに寄与します。王子ホール即ち王子グループは日本でホールの価値を維持し続け、その存在意義を見出している稀少な存在なのです。商業目的ではなく、良質な文化の発展という観点で開催される主催公演は、世界中の演奏家が再演を願い、楽屋通路に飾られている写真がそれらを物語っています。このようなホールは世界中を探しても少なく、同じような規模のホールを挙げるならウィーンのシューベルトザールでしょう。

今日もまた新たな文化が王子ホールから世界に発信されます。これから先も、次世代の演奏家たちの憧れと夢の場であり続け、お客様に愛されるホールとして発展されることを心から願っています。

1993年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者に就任。現代フルート界のトップ奏者として世界の名だたるオーケストラおよびコンサートホールに招かれているキング・オブ・フルート。王子ホールでの来日公演も多い。

### エマニュエル・パユ さん



王子グループ150周年おめでとうございます。

ソロ・フルート奏者として国際的に演奏活動を行っている私にとって王子グループとは、聴衆とアーティストが出会い、かけがえのない文化的体験を育む場を創り上げ、サポートし続けて下さる存在です。東京の中心に位置する王子ホールで、重要かつ感動的な高水準のコンサートが30年間に渡って開催されていることは世界でも知られています。これは御社にとって誇るべき業績の一つと言えるでしょう。王子グループによる不断のコミットメントによって、王子ホールは最上級のライブ・パフォーマンスの提供という音楽ホールの根本において卓越し続け、聴衆が出会う体験の文化的水準を引き上げることに貢献し、とりわけクラシック音楽ファンに熱烈に支持される室内楽の聖地ともいべき地位に達しました。

今後とも、王子グループの長きに渡る実り多い活動をお祈りするとともに、この度の150周年を心よりお祝い申し上げます。

## 王子ホールのこれから

### 星野支配人のメッセージ



315席の小さなホールは、今や知る人ぞ知る室内楽の殿堂になりました。海外の著名な演奏家たちが日本のホームと呼び、日本の若い演奏家たちにとって憧れであり、クラシック音楽ファンにはなくてはならない場として、王子グループ150年の歴史の中の30年、ここにあります。あるからにはそのブランド価値を守り、次世代へ繋げていかねばなりません。今後は新しいファンの獲得が求められるでしょう。コンサートホールの最大の利点は生の音の響きにあって、最大のお客様がクラシック音楽ファンであり、経験豊かで活動的な方々に支えられて歴史を繰り返しています。根幹が揺らぐとその人たちを失うことになる。演奏家も然り。決してあってはならないことです。正しいコンセプトを一貫して持ちながら、クラシック以外にもフィールドを広げて新しい層を獲得していくことが理想的です。音楽を求めて日夜様々な人々が集まってくるホールという場は、言わばダイバーシティ。これからも求められる限り役目を果たしていきます。

## やすらぎと感動はここから… 開館30年 銀座4丁目の音楽空間。

1991年、王子製紙(現・王子ホールディングス)の新社屋建設に際し、当時の経営陣の「銀座から文化発信を」の思いのもと、文化貢献事業の一環として併設され、翌92年10月25日にオープン。以来30年に亘り、国内外の一流の演奏家、聴衆から高く評価され、愛されながら、日本屈指の室内楽ホールとして名声を得ている。ヨーロッパのサロンのような客席で味わう音楽との一体感は他に類を見ない。

### ホール概要

名称	王子ホール
所在地	東京都中央区銀座4丁目7番5号
電話	03-3564-0200
開館	1992年10月25日
ホール面積	377m <sup>2</sup>
客席	315席

### 沿革

1992年10月25日	オープニング・ガラ・コンサートで開館
2003年7月	3年に亘る王子ホール委嘱作品 ギリシャ劇「エレクトラ3部作」開幕
2003年8月	舞台改修。より良い響き、より深いステージとの一体感実現
2011年3月11日	東日本大震災。約1か月公演中止
2013年5月21日	日本人初の世界的弦楽四重奏団「東京クワルテット」ラストコンサート
2017年10月24・25日	開館25周年記念。看板コンサート「MAROワールド」の仲間たち“MAROカンパニー”によるガラ・コンサート。NHK-BSで放映
2018年1月～10月	天井耐震工事のため休館
2018年10月25・26日	リニューアルオープン。「MAROワールド」によるウィンナー・ワルツの響きで新たな幕開け。現在に至る

### 主要公演の紹介



世界を魅了したディーヴァ  
フェリシティ・ロット  
(2011年4月15日)



奇跡のドリーム・チーム  
レ・ヴァン・フランセ  
(2014年10月21日)



リニューアルオープン・コンサート  
MAROワールド Vol.33  
by 篠崎“まる”史紀  
(2018年10月25日)



聴く人すべてを虜にする若きピアニスト  
藤田真央  
(2022年10月18日)